

建築設備用ポリエチレン管『融着レス工法』を共同開発

(株)クボタケミックスは、マンションの共用給水管向けのポリエチレン管融着レス工法を(株)長谷工コーポレーションと共同開発致しました。

ポリエチレン管は、耐久性、耐震性に優れ、軽量で作業性に富むことや電気融着接合の高い信頼性が評価され、ガス管や水道配水管として一般的に用いられておりますが、昨今は建物内の共用給水管としての採用が増加しております。

しかしながら、建物内での電気融着接合は、屋外での施工に比べて接合時の管理項目が多いため、その施工には手間と熟練が必要でした。

そこで、「施工品質の安定化」と「施工手間の削減」を目的として、専用工具が不要な融着レス接合の製品を開発致しました。

融着レス工法には「Eロック工法」と「ハウジング工法」との2種類があり、そのうち、「ハウジング工法」については、(株)長谷工コーポレーションとの共同出願による意匠登録申請を実施し、平成28年5月に権利化を完了しております。

【融着レス工法の特長】

①施工品質の安定化

(株)クボタケミックスの協力工場加工・ユニット化することにより、現場での接続箇所を削減します。

施工環境の影響を受けにくい融着レス工法で施工するため、施工品質の安定化を図ることができます。

尚、接合部分については(株)クボタケミックスが品質を保証致します。

②省力化

通電時間や冷却時間が必要な電気融着接合と比較して、接合時間を70%以上短縮(※)することが可能です。

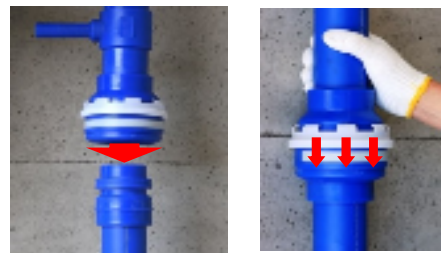
(※直径75mmの配管での現場検証値)

【融着レス工法の詳細】

配管設置場所に合わせ、「Eロック工法」と「ハウジング工法」をプレファブ配管システムに展開します。

①Eロック工法

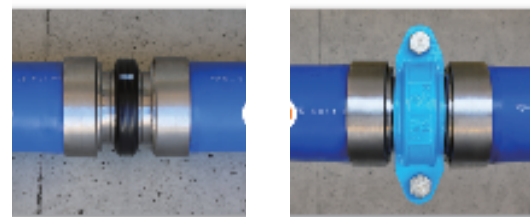
「プレファブユニット端部のゴム輪受口と挿し口の接合部を抜け出し防止リングで固定」「Eロックカバーのスライド」のツータッチで接合可能な工法です。主にピット内配管や給水立て管の接合部で使用します。



(左：受口と挿し口の接合、右：Eロックカバーのスライド)

②ハウジング工法

ステンレス製グループ（溝）をプレファブユニット端部に組み込み、ハウジング継手で接合する工法です。主にピット内配管やグループ端部を備えた機器との接合部で使用します。



(左：ゴム輪の装着、右：ハウジングの装着)

【販売開始時期】 平成29年1月の発売予定です。

【お問い合わせ先】 人事総務部 東京総務課 担当：入野 裕樹 (いりの ひろき) TEL：03-5695-3279